



准フォレスター研修へ参加されたみなさん＝人吉市総合福祉センター

准フォレスター研修がスタート

九州各県から92人が参加

7月11日から、熊本県人吉市において、熊本南部森林管理署、森林技術センターのフィールドを活用した、九州ブロックの准フォレスター研修がスタートしました。

当年度の准フォレスター研修は、九州各県の職員81人、国有

林の職員11人の計92人。研修は、3グループに分かれ、それぞれ延べ2週間受講し、最終グループは11月に研修を修了する予定となっています。

研修では、林野庁や大学などの有識者のほか九州森林管理局や森林管理署などの職員も講師を務めることとして

しています。

第1週目の研

修では森林・林業再生プランや新たな市町村森林整備計画の概要のほか、市町村森林整備計画の策定に重要となってくる発揮すべき森林の機能に応じたゾーニングや、民有林を集約化して森林実施を行うことを想定した演習。また、野外では現在の人工林を将来どのような森林にしていくかという目標林型の設定についての演習が行われたほか、九州森林管理局森林技術センターで取り組むさまざまな施業方法についても

紹介され活発な議論が行われました。9月から引き続き行われる第2週目の研修では、森林経営計画の演習のほか、森林実施における労働安全、木材の流通や販売に関する講義など、准フォレスターが身につけておくべき必要な事項についてさらに研修を行うこととしています。

林野庁では平成27年度までの5年間、毎年400人程度の准フォレスターを育成することとしています。

局長交代

沖前局長は国有林野部長へ 後任は平之山 前 治山課長

8月2日付きで沖修司局長が林野庁国有林野部長に転出し、後任に平之山俊作・林野庁森林整備部治山課長が就任しました。

なお、新局長の略歴は次のとおりです。



ひらのやましゅんさく

平之山俊作

(鹿児島県出身：56歳)

- 昭和56年4月 農林水産省入省(林学)
- 平成15年4月 林野庁国有林野部業務課国有林野総合利用推進室長
- 平成17年4月 林野庁国有林野部業務課国有林野管理室長
- 平成19年4月 環境省総合環境政策局環境影響評価課長
- 平成21年9月 林野庁国有林野部付
- 平成21年10月 林野庁森林整備部治山課長
- 平成23年8月 現職



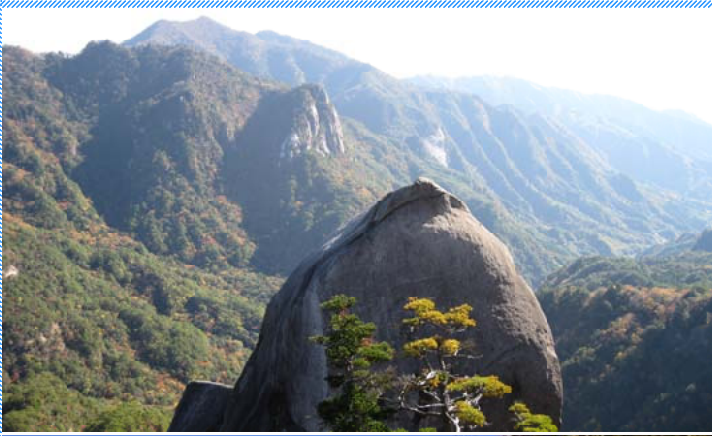
宮崎北部森林管理署
森林育成係長

阿部 夏子

阿部 夏子

岩峰とアケボノツツジがすばらしい、標高1644.4.4.4の大崩山は、登山愛好家の中では、九州一の名峰、深山幽谷とうたわれ、日本でも有数の山として知られている名山です。

大崩山は、宮崎県延岡市の北西部に位置し、九州山地に属す



(上) 木積ダキより坊主岩を望む

(下) 秋の木積尾根の紅葉

春には、アケボノツツジ、ドウダンツツジ、ミツバツツジが咲き、秋には紅葉が美しく、四季折々の素晴らしい景観に出会

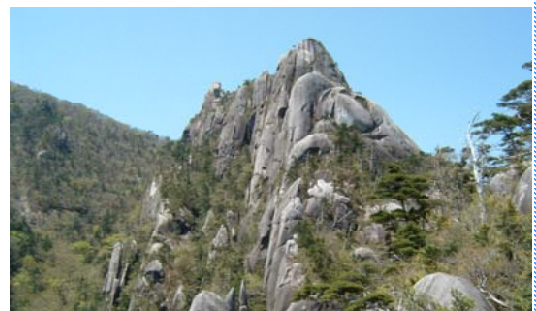
る山で、祖母、傾山地の東南に連なる膨大な山域を有し、新百姓山、夏木山、五葉岳、鹿納山から主峰の大崩山へと連なっています。

また、祖母山や傾山とともに、祖母傾国定公園に指定されるとともに、「森林生態系保護地域」に指定され、モミ、ツガ、ブナ、カエデなどからなる原生林が広がり、ニホンカモシカも生息する希少野生動物の宝庫として、豊かな自然が残されています。大崩山の名前の由来は、風化した花崗岩による崩れやすい地質に由来するもので、岩峰や岩壁が大きく崩れるように見えることから、大崩山と命名された

九州の名峰 「大崩山」標高1644.4.4.4

そうです。

えます。



和久塚の遠望

このように大崩山は、花崗岩の白亜の岩峰がそびえ立ち、三里河原の渓谷を包む深い原生林を有し、その雄大で圧倒的な山岳景観を魅力とする山です。春には、アケボノツツジ、ドウダンツツジ、ミツバツツジが咲き、秋には紅葉が美しく、四季折々の素晴らしい景観に出会

【熊本森林管理署】当署と遊々の森協定を結んでいる熊本市立芳野小学校の要請を受け、先生12人を対象に森林環境教育を行いました。はじめに、森林ふれあい係長が「遊々の森」の活用の方や、児童たちへの森林環境教育のすすめ方を説明。続いて「芳野みんなの森」の樹木についての説明や葉を用いたバツタ作り挑戦しました。先生から、「この勉強を機会に2学期からの教育の参考にしてほしい」旨のあいさつがありました。

芳野小学校先生へ森林環境教育



芳野みんなの森で職員から説明を聞く先生たち(熊本)

葦原原跡で安全祈願祭

【鹿児島森林管理署】霧島連山の安全祈願祭が霧島市の高千穂河原古宮跡で行われ、関係者約60人が参加。当署からは久保田修流域管理調整官が参加しました。霧島連山は新燃岳噴火により現在も登山規制が続いており、例年4月に行われていた「夏山開き」を取りやめ、えびの高原周辺の散策を楽しむ観光客の安全と新燃岳噴火の終息を願う「安全祈願祭」を行うこと



安全祈願を受ける参加者＝鹿児島

となったものです。参加者は神事の後、緑豊かな霧島連山の復

活を祈念しながらゴミ袋片手に周辺の清掃を行いました。

請負事業体等安全協議会

【大隅森林管理署】事業実行中の請負事業体と事業担当者が一堂に会して安全協議会を開きました。事業体から、日ごろの安全活動の事例発表と今後の取り組みが紹介されました。また、鹿屋労働基準監督署安全衛生課長が労働災害の現状などについて講演。労働災害防止対策について再認識をしました。当署か



安全協議会へ参加した関係者＝大隅

らは過去の災害事例を教訓に類

似災害防止について要請を行い、最後に、指差唱和で安全作業を誓いました。



8月1日付森林管理局長発令
計画課森林施業調整官
松永善人（林野庁）
沖繩署流域管理調整官
坂梨哲章（福岡署）
企画調整室室付
生島智英（近畿中国局）
計画課課付
遠山勝（沖繩署）
大分西部署総務課長
廣石功（計画課）
宮崎北部署業務第一課長
木村宏（西都児湯署）
西都児湯署総務係長
萩岡茂治（企画調整室）
宮崎署経営係長
平生陽介（宮崎署）
福岡署首席森林官
渡辺行直（大分西部署）
大分署森林官（上席）
奥田博司（宮崎北部署）
宮崎署森林官
山本隆之（宮崎北部署）
森林総合研究所出向
平山由希子（宮崎署）

美しい松林を後世に

本市は、鹿児島県の西部、薩摩半島のほぼ中央に位置し、東に県都鹿児島市、西は東シナ海に面しています。東シナ海に面する海岸線は、日本の渚百選にも選ばれた日本三大砂丘の一つ「吹上浜」が続く白砂青松の景勝地として広く親しまれています。



鹿児島県
日置市市長

宮路 高光 さん

吹上浜海岸の松林も平成4年頃から松くい虫被害が急増し、平成6年には、吹上浜一帯で15000立方メートルにも及ぶ被害が発生しました。被害の拡大を防ぐため、国、県、関係市町等の関係機関による吹上浜松林保全

対策連絡協議会を設立し、徹底した防除対策により、被害の縮小が図られて以来、関係機関の連携した被害対策により、現在まで大きな被害は発生していません。

具体的な被害対策として、大部分を占める国有林と、隣接する民有林を合わせ、空中散布等による防除、徹底した被害木伐倒駆除を毎年実施しておりますが、美しい松林を後世に引き継ぐことが私どもに課せられた使命であると認識しております。

今後とも本市の貴重な資源である吹上浜と松林の保全について、国、県等の関係機関と連携した取り組みを進めて参ります。



吹上浜一帯の広大な松林は、美しい自然、景観を演出するとともに、塩害や飛砂などの防止

を守り、農業をはじめとする生産活動などに重要な役割を果た

しています。また、クロマツは、歴史を刻みながらたくましく発展する本市の象徴として平成18年に市木に制定され、市民に親しまれています。

吹上浜一帯で15000立方メートルにも及ぶ被害が発生しました。被害の拡大を防ぐため、国、県、関係市町等の関係機関による吹上浜松林保全

今後とも本市の貴重な資源である吹上浜と松林の保全について、国、県等の関係機関と連携した取り組みを進めて参ります。

今後とも本市の貴重な資源である吹上浜と松林の保全について、国、県等の関係機関と連携した取り組みを進めて参ります。

実践講座
第2回
公開

「絵手紙」を開催

監物台樹木園みどりの交流館において第2回実践・公開講座「絵手紙」を開催。当日は一般公募により34人が参加しました。

講座は、石神智生指導普及課長の挨拶の後、講師の九州インストラクター会松野親人氏が、「絵手紙を通して森林・林業への理解を深めて頂きたい」と、



近年、森林管理署職員による児童への森林・林業教育活動を新聞などで拝見しますが、私も森林ボランティアグループと類似した点もあり、今後の活動の糧になればと思いモニターへ応募しました。

森林は親から子、子から孫へとつなげて守ることを体験活動



餅原 和男さん

暮らしを守る保安林や地球温暖化のメカニズムなど、森林の公益的機能について講義。その後

「植物をよく観察して自分の色を作ってください」と絵手紙の書き方の説明を受け、受講生は用意された色とりどりの夏野菜や花、ホオツキなどの中から題材を選び、講師のアドバイスを

の中から学び、故郷の良さを再認識していただくことを目的に「みどりの二季会」を平成16年5月に設立し、森林の整備や森林教育などへ取り組んでいるところで。

人が動けば物が動き、物が動けば金が動くのが道理で活動經費の捻出に四苦八苦。活動などへ助成していた

だけける公的機関や企業の情報収集のため申請書や実績報告など、現場活動より慣れない事務処理に追われる中、意見の齟齬による年度途中の役員辞退などがありました。7年かけて運営も軌道に乗ってきたところです。

活動フィールドは霧島市牧園町高千穂にある轟の滝下流兩岸

受けながら数枚の作品を完成させました。最後にそれぞれの力作を額に入れ、講師から講評を頂きました。

受講生の中には毎年楽しみにされている方や、初めて参加され、「何十年ぶりに筆を握って楽しい時間を過ごせた。もう少し時間がほしかった」などの感想が寄せられ、好評のうちに講座を終了しました。

(担当：指導普及課)

約3センチです。その中で間伐材によるキャンプ用テント台4基および間伐材、竹材をチップ化敷した滝見学遊歩道や駐車場の整備を完了し、県外を含め多くの市民が森林浴へ訪れるようになりました。

今年から、造林地への侵入が著しいモウソウ竹を逆手に取り、筒専用林へ移行させる事業へ着手することとしています。

また、子どもたちの自然観察力や探求心を養う、「ジュニア樹木博士養成講座」の12回目を8月に実施する予定です。これは、森林内で児童5人に対し、講師として森林インストラクター



完成した作品を手にする受講者のみなさん

森林の整備とジュニア樹木博士認定講座

が樹木医をワンセットとして6組程度の郷土の樹種を主体に樹木ツアーを実施し、樹木の特徴25種を記録する2時間の旅です。

内容は、①樹木識別ノートへ枝葉をスケッチ②ツア終了後、樹木25種の枝葉で10分間程度のおさらい会③25種の枝葉で検定試験を実施④正解数により級段位を決定⑤額縁

授与式で、一番心配をするのは子どもたちではなく講師の先生方で、自分の受け持った子どもたちの成績発表に一喜一憂しながら心臓に負担が掛かると申しております。

(鹿児島県鹿児島市在住)

木の文化を継承

【大分西部森林管理署】 太宰府木うそ保存会は、平成16年から木の文化を支える森づくり協定を締結し、天満宮の伝統催事「うそかえ」に使用する「木うそ」の原材料のコンシアブラを確保するため、九重町の国有林で稚樹の刈出しを行っています。

コンシアブラの、色白な材色はうそかえの材料として他の樹木では代用できないということです。今年度は若い新会員を含め、刈出し作業に心地よい汗を流しました。



コンシアブラの刈り出し作業をする保存会のメンバー 大分西部

第14回 綾プロ連携会議を開催

綾の照葉樹林プロジェクト（綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画）第14回連携会議が宮崎県綾町役場会議室において開かれ、宮崎県、綾町、公益財団法人日本自然保護協会、てるはの森の会、学識経験者ら17人が参加しました。

会議では、①平成22年度の事業報告②平成23年度の事業計画（案）について審議され全会一致

で承認されました。

また、5月に開かれた「国際照葉樹林サミット2011」について、事務局から参加者数や決算などの報告。ユネスコ「人間と生物圏（MAB）」計画の「生物圏保存地域」について、綾町からMAB申請の現状などについて説明が行われ第14回連携会議を終了しました。

（担当：川口画課）

低コスト路網現地検討会を開く

【宮崎森林管理署】活用型保育間伐の請負発注予定個所で局森林整備部の企画官の指導の下低コスト路網整備現地検討会を開催。県内の署や各事業体、関係者ら120人が参加しました。昨年度の路網検証会での意見を踏まえ、適正な線形をテーマに現地を踏査しての技術レベルの情報の交換を行いました。今回は、線形の検証と作設技術の向上を目的とした、第2回路網現地検討会を予定しています。



現地検討を行う関係者のみなさん
川宮崎

官・民一体でゴミゼロに

【都城支署】当支署の「クリーン活動」として、都城支高崎町の国有林で不法投棄物の撤去作業を都城市役所、旧高崎町内全公民館、土木協会宮崎支部・都城竹林業協同組合や地区住民など約60人が参加し、林内の不法投棄物を回収撤去しました。この機会に、不法投棄物の現状を見ていただき、国有林、民有林を問わず地域のみなさんで「森林」を守るための防止策に繋がればと思います。



不法投棄物の回収を行う参加者のみなさん
都城支署



議題について審議する関係者のみなさん＝綾町役場



私の職場に、今は亡き忌野清志郎の熱狂的なファンがいる。彼とは十数年来の付き合いであり、良き友だと思っている。その彼が酔うと清志郎に成りきって歌う「雨上がりの夜空に」は、本当に上手いと思う。他の見知らぬ人からも拍手が沸くほどである。そんな彼が最近歌った歌にこんな歌詞があった「・・・人気の無い所で泳いだら、原子力発電所が建っていた・・・東海地

「サマータイム・ブルース」

対派の誰もがそう言っていたのか解らないが、とにかくすごいと思った。

福島原発が未だに収束の見途がないなか、福島市に住んでいる弟家族が心配で電話をすると「90キロ離れているから心配い

震もそこまで来てる・・・原子力は要らねえ危ねえ」「サマータイム・ブルース」という清志郎の曲だそうで、初めて聞いたが驚かされた。

十数年前に清志郎が今の現状を予知していたのか、原子力反

らねえ」と福島弁で答えるが、本当に安全なのか解らないので心配である。

そんな中、放射能に汚染された牛肉問題が報道され、日本全体に影響がおよぶと思われる。

私は何時も職場で「健康で安全で明るい職場で」と言っているが、日本全体の人が健康で安全で、一日も早く明るい笑顔となるよう願ってやまない。

今、清志郎が生きていたらどんな曲を歌っているだろうか。

職員厚生課長 井 廣二

平成23年度

林木育種推進九州地区協議会開催

平成23年度林木育種推進九州地区協議会が7月14日、15日の2日間、宮崎市に於いて開かれ、林野庁をはじめ、(独)森林総合研究所林木育種センターや九州各県の関係機関から63人の参加がありました。

会議では、九州育種場の重点事項や各機関の林木育種事業の研究重点事項などについての意見交換が行われ、今後の育種研究・技術開発のさらなる推進を図っていくことを確認し、1日目を終了しました。

2日目は、宮崎森林管理署管内石坂国有林に於いてマルチキャビティコンテナ苗植栽試験地を



コンテナ苗について現地検討を行う参加者

視察し、現地検討会が行われました。

現地では、コンテナ苗の活着状況、初期生長量の説明があり、今後の低コスト造林に大いに期待されることから、「コンテナ苗に関する情報公開をしてほしい」との意見もあり、有意義な現地検討会となりました。
(担当＝森林整備課)



ケヤキは建築材に使用され、特に社寺では全体(軸組・板・装飾)に多く使われ、家屋では柱や床柱(大黒柱)として利用されています。

材は堅く磨くと艶があり緻密な木目がきれいなことから衝立や工芸品に多用され、山里近い「道の駅」で売られている磨き工芸品に必ず使われています。

また、天に向かって放射状に広がる独特の樹形姿(ほづき状)が美しく街路樹の並木として植えられています。

本州以南に分布する落葉樹の

対馬市神小で「お届け講座」

【長崎森林管理署】対馬市立神田小学校で3年生から6年生の28人にお届け講座を行いました。最初に、職員から「森林の大切さ」と、「ホタルの生態について」スライドを使って説明。児童らは、対馬だけに生息する「アキマドボタル」に、興味深く自然豊かな地域が自慢できること、そして、自然を大切にすることを理解してもらいました。



熱心に説明を聞く児童ら＝長崎

先生達から質問もあり、予定時間を超えてしまうほどでした。

④7 ケヤキ (ニレ科)

色に演出します。

高木で、葉の鋸歯は整然としており、葉全体に気品を漂わせています。ケヤキの名前はケヤケキ木の意味で、貴重な、際立って美しい、目立つ意味の「げやけし」の言葉から付けられました。

昭和40年代には国有林からたぐさんのケヤキが伐採搬出されて、素材で立方当たり100万円を超える取引もあり、つきば円として利用されました。

初夏の若葉もきれいですが、紅葉は個体によって色が明るい茶色や黄色となり他の落葉樹と共に山肌をすばらしい「もみじ」



この夏、なでしこの花は国を励まし、世界を驚かせた▼ドイツ・フランクフルトで行われたサッカー女子ワールドカップ決勝。なでしこジャパンは、PK戦を制し開花した。最後まで諦めないひたむきなプレーは多くの人に勇気と感動を与えたことだろう▼この季節、阿蘇の限られた草原に生育するナデシコ科のマツモトセンノウの花期だ。

こちらのナデシコ、今では、環境省レッドデータブックの絶滅危惧種に指定され、希少な花となってしまった。畜産の衰退や高齢化などにより採草や野焼きが行われなど生育環境の変化が大きな要因であろう▼サッカー日本女子代表が編成されて30年。合宿は雑魚寝、選手の多くは働しながら練習をしているなどこちらの環境も恵まれたものとはいえないようだ▼阿蘇では一部の草原ではポラントニアによる復元の取り組みが始まり花々の復元もみられるようになった。優勝を期に女子サッカーの環境向上につながればと思う▼自然環境、生活環境。今、求められているのは環境の調和ではないだろうか。(晴)